

AMBITIOUS #095

特別養護老人ホーム南生苑 介護福祉士

「今」という時間を
思いきり楽しんで!!

紹介企業情報/ 社会福祉法人緑生福祉会

- 住所 名古屋市緑区大高町上蠅池14
- 住所 名古屋市南区西又兵衛町4-8-2(南生苑)
- URL <http://www.ryokusei-fukushi.jp/>
- 勤務時間 7:30~15:50(早1)、8:30~16:50(早2)、10:30~18:50(遅1)、11:40~20:00(遅2)、16:40~9:20(夜勤)
- 休日 シフト制、週休2日制

アンビ
ジャスト

なるためには

- 必要資格 / 介護福祉士 ※入社後に取得可能
- 主な進路 / 高校卒業→福祉関係の大学に進学→福祉制度や医療に関することを学ぶ→介護施設に就職→介護福祉士の資格を取得

—学生時代

「3年間バドミントンに熱中していた、高校時代は部活の思い出しがないくらいですね。部活を通して、チームワークが養われました。いまでも部活の仲間とは仲がいいですよ。福祉系の道に進もうと思ったのは、中学校の職場体験でデイサービスに行ったのがきっかけ。もともと、おばあちゃん子だったのも大きいです。専門知識を学ぶため、同朋大学社会福祉学部に進学しました」

「福祉や医療に関すること、障がいについて、地域で支え合うことなどを勉強しました。座学で学んだことだけでなく、特別養護老人ホームでの実習も印象深いです。大学で学んだことをいかして実習に臨むというよりは、一から現場で役立つ技術を学ぶという感じでした。大学卒業後は、南生苑に介護職員として就職しました」

—仕事について

「最初は、利用者さんとコミュニケーションをとることから。あとは、先輩に付いてもらい、食事や移乗介助など、いろいろな介護技術を学びました。ボデイメカニクスという腰を痛めないように介助をする基本技術も最初に教わりました」

「最初に苦労したことは？」

「視野を広くもって利用者さんの動きを読むことです。利用者さんによつてベストな接し方や介助の仕方違うので、その人に合わせた支え方を覚えるのにも苦労しました」

ケアセンター



「最初に苦労したのは、それくらいです。世間的には、厳しい・つらいというイメージがあると思いますが、想像以上に楽しい仕事ですよ」

「仕事内容について教えてください」

「利用者さんの生活を支える仕事です。日々、食事や排泄、お風呂や就寝の介助などをおこなっています。レクリエーションの時間では、楽しい企画を考えて実施しています。大切なのは、利用者さんの生活歴や趣味を聞くこと。買い物好きの利用者さんだったら一緒に買い物に出かけたり。音楽が好きだった利用者さんとは、カラオケを楽しんだり。その人自身を知ること、少しでも利用者さんの生活が豊かになればと思って仕事に取り組んでいます」

—やりがい

「ちょっとしたことでも、『ありがとう』と言ってもらえること。利用者さんやご家族からの言葉がやりがいです。この仕事は、一方的に私が利用者さんを支えているのではなく、私が利用者さんから学ぶことも多いです。私にとつて利用者さんとのふれあいが癒しなので、現場にいたるだけで癒しをもらっています」

—なるためには

「介護福祉士の資格が入社時に必須というわけではありません。私も入社後に取得しました。この仕事は、高齢者が相手なのでゆっくり大きな声で話すことが大切です。あとは、はつれんそう(報告・連絡・相談)も。夜と朝、仕事を引き継ぐときには記録をもとに申し送りをして、介護職員みんなで仕事をおこなうという意識を忘れないようにしています。あと介護の仕事は、子供を産んでも復帰しやすいです。女性には働きやすい職場だと思いますよ!」

「忙しいところ、ありがとうございます」

岡本 由紀さん

昭和62年生まれ 同朋大学社会福祉学部社会福祉学科卒業

・出身高校 鳴海高校

15歳

デイサービスに行った職場体験がきっかけで福祉に興味をもつ。

18歳

同朋大学に進学し、福祉制度や医療、地域の関わりについて学ぶ。

31歳

日々の介助、レクリエーションを通して、利用者さんの生活を支える。



AMBITIOUS #096

ALSOK 総合警備保障株式会社
警備職(機械警備)

仲間を大切に!!

紹介企業情報 / 総合警備保障株式会社名古屋支社

■住所 名古屋市中村区畑江通7-1-1 綜警名古屋ビル

■URL <https://www.alsok.co.jp/>

■勤務時間 9:00~18:00(日勤の場合)
18:00~翌9:00(夜勤の場合)

■休日 4週9休

アンビ
ジャスト

なるためには

●必要資格 / 普通自動車免許

●主な進路 / 高校卒業→4年制大学を卒業→警備会社に就職

警備職

—学生時代

「高校生のとき、警察官として働く兄の姿に憧れて、将来は人を守る仕事がしたいと考えてようになりました」

大学時代のことを教えてください。

「兄の背中を追って名古屋学院大学に進学し、アメリカンフットボール部に入部。毎日車で片道2時間かけて大学に通い、4年間ずっとアメフトに打ち込んでいました。記憶に残っているのは2年生のとき、2部の優勝決定戦で優勝したこと。毎日の練習や筋トレに加え、たくさん食べて身体をつくる、まさにアメフト漬けの日々でした」

いまの仕事を目指したきっかけは？

「在学中のあるとき、通学中に真っ黒けの消防士を見たんです。火災の現場から帰ってきたその姿のかわりに、『誰かを守る仕事』への憧れがさらに強くなりました。そんなとき友人がALSOKの採用試験を受けるということで、私も『お客様の安全安心を守る』ことができる警備職に挑戦しようと思いました」

—仕事について

「入社後すぐの初任研修では、座学、敬礼などの警備の基本動作、AEDの使い方や消火器訓練、護身術などを泊りがけで学びます。起床から就寝まで細かく時間が管理されており、その厳しさはテレビ番組でも紹介されるほどです。研修を終えると、警備輸送の担当となり、小切手や現金、重要書類などを運ぶ仕事を5年間続けました」

現在の仕事内容を教えてください。

「現在は機械警備隊に所属し、当社のセキュリティシステムを導入されている企業や個人のお客様に何かあった場合に駆けつけ、問題を解決する業務を担当しています。具体的には、センサーが不審者の侵入や火災を感知すると、私たちのものに出動要請が入るので、いち早く現場に駆けつけます。また、銀行などのATM、エレベーター、スーパーの冷凍庫などが壊れてしまったときにも駆けつけて対応しますし、自動車保険に入られている方が交通事故を起こされたとき、一人暮らしの高齢者にもしものことがあったときなども駆けつけています。業務の幅が広く、必要な技術や知識も本当に多岐に渡ります」

—やりがい

「お客様からの感謝の言葉にやりがいを感じます。事故で駆けつけたとき、『ALSOKさんが来てくれて安心しました』と泣いてくれたり、くださった方もいらついています。この仕事をやっていてよかったと思う瞬間です」



—なるためには

「入社前に必要な資格は特にありません。資格よりも大事なものは、『大切な人を守りたい』という強い意志と、正義感があることだと思います。私は、大学時代のアメフト部での経験のなかで、『仲間を大切に、運命共同体として戦う』という姿勢を身につけることができました。警備の仕事も、一人ではできないものです。誰かを守るためにチームで動くとき、この『仲間とともに』という意識がとても役に立っていると思います」

お忙しいところ、ありがとうございます。

佐治 正規 さん

昭和61年生まれ 名古屋学院大学商学部卒業

出身高校 大同大学大同高校

22歳

↓

27歳

↓

32歳

「誰かを守る仕事」を志し、ALSOKへ入社。厳しい研修を受ける。

より責任感とやりがいのある、機械警備隊に異動。

機械警備隊の長になることを目標に、今日も「誰かを守る」仕事に励む。



分業中

AMBITIOUS #097

名鉄観光サービス株式会社
営業(旅行業)

個性も強み!
¡ Gracias!

紹介企業情報/ 名鉄観光サービス株式会社

■住所 名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル
■URL <http://www.mwt.co.jp/profile/>
■勤務時間 9:00~18:00
■休日 土曜日、日曜日、祝日

アンビ
ジャス的

なるためには

- 必要資格 / 旅程管理主任者 ※入社後に取得
- 主な進路 / 高校卒業→4年制大学を卒業→旅行会社に就職→営業として勤務

—学生時代

「中学高校とソフトテニス部に所属し、中学でキャプテンを、高校では副部長を務めました。県大会に出場できたことが一番うれしかった思い出ですね。当時は航空業界への憧れがあり、英語も好きだったので、大学では将来武器になる外国語を学びたいと考えていました」

大学時代のことを教えてください。

「南山大学外国語学部に進学し、語学漬けの日々を送りました。スペイン留学で旅行に目覚め、メキシコ、キューバ、NY、台湾など、アルバイトでお金を貯めては旅行をする学生生活でした。同時に放送業界にも興味をもち、放送系のサークルでは、自分たちで番組を制作し、大学祭などのMCも担当。アナウンサースクールにも通い、就活ではテレビ局を50社ちかく受けました。いい返事をもらえず焦りはじめたとき、自分の好きな旅行を軸に就活をしようと思ったのがこの業界に入ったきっかけです。学内企業説明会で出会った名鉄観光の採用試験を受け、無事に内定をいただきました」

—仕事について

「入社後1ヶ月間は、新人研修でした。添乗員になるために必要な**旅程管理主任者**の資格を取得するため、座学を受け、添乗の実務をこなし、検定試験を受けました。その後、本配属となり、法人のお客様の社員旅行や研修、周年イベントなどのプロデュースや母校を含めた高校大学の合宿、ゼミなどの手配をする営業

担当として働きはじめてました」

現在の仕事内容を教えてください。

「週に4日は外回りに出ており、飛び込み営業をすることもあります。社員旅行を計画中という会社様と出会ったら、行き先や希望をヒアリングしてプランを作成。同時に宿泊施設などを仮予約し、後日ご提案に伺います。見積もりにOKをいただければ、出発時間や昼食の内容、体験イベントの内容や部屋割り、宴会に必要なものなど、詳細を確定していきます。当日の旅行に同行する場合は、添乗員としてお客様をご案内します」

—やりがい

「二度、航空券の手配ミスで、お客様を怒らせてしまったことがあります。その後、なんとか航空券を手配することができたのですが、お客様がご旅行を終えられたあと、お電話で「楽しかったよ、ありがとう。次回もまたよろしくね!」という言葉をくださったときは、とてもうれしかったですね。常に「何が起こるか分からない」という危機感もち、臨機応変な対応と細やかな心配りが心がけています」



—なるためには

「旅行会社で働きたいのなら、とにかくたくさん旅行に行くことです。そして、ぜひ幹事として旅行を企画してみてください。旅行会社の営業の仕事は、幹事の仕事ととても似ています。グループでの旅行を企画すれば、細かなところへの気配りも身につきますし、自分の目で見たものがすべて仕事につながりますよ。また、旅行と関係がなくても、何かとても好きなものがあるなら、それを大事にしてください。思わぬところで役に立ったり、強みになったりするものですよ」

ありがとうございました。

たか はし み ほ
高橋 美帆さん

平成6年生まれ 南山大学外国語学部卒業

・出身高校 愛知淑徳高校

18歳

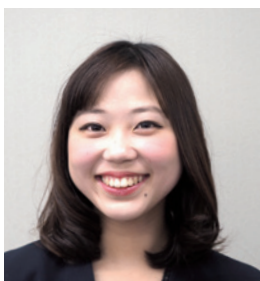
アナウンサーをめざし、放送系の大学サークルやスクールに入る。

22歳

大好きな旅行を仕事にしようと、名鉄観光へ入社し、添乗員資格を取得。

24歳

自分の力で海外旅行を受注して添乗することを目標に、業務に励む日々。



分
時
中

AMBITIOUS #098

愛知県警察 第一交通機動隊

警察官(交通機動隊)

前向きに!

紹介企業情報/ 愛知県警察 第一交通機動隊

- 住所 名古屋市北区萩野通1-20
- URL <https://www.pref.aichi.jp/police/>
- 勤務時間 週38時間45分
- 休日 通常勤務の場合は土曜日、日曜日/特別勤務(交番勤務など)の場合、4週のうち8日(または12週のうち24日)

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→4年制大学を修了→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→地域課に配属→白バイ専科を修了→交通課勤務を経て、交通機動隊へ配属

アンビ
ジャスト

—学生時代

「小さい頃からサッカーをやっていた、仲間と一緒に頑張るチームスポーツが好きでした。高校でもサッカー部に所属し、人のために活動する面白さを実感。将来の職業は『人のために何かできる仕事がいい』と、消防士や警察官などの公安職を志していました」

大学時代のことを教えてください。

「公安職を目指すのであれば、法律を学んでおきたいと思い、愛知学院大学法学部に進学。民法・刑法・憲法・会社法など、法律全般について学びました。当時の知識は、今も仕事で役に立っています。また、大学で開催されている警察官採用試験の対策セミナーなどにも積極的に参加していました。勉強面以外では、アルバイトで貯めたお金でバイクを購入。様々な場所へツーリングをするうちに、大好きなバイクに乗って仕事ができる白バイ隊員に憧れを抱くようになりました」

—仕事について

「警察官採用試験に合格し、約6か月間、警察学校に入りました」

警察学校では何を学ぶのですか？

「警察官としての基礎的な知識や動作のほか、柔道や剣道、逮捕術などを学びます。警察学校の訓練はとて厳しかったですが、私はもともと体を鍛えることが好きだったので、体力面での苦労はありませんでした。同期の仲間と励まし合って乗り越え、今ではとてもいい思い出になっています」

警察官

新人時代のことを教えてください。

「春日井警察署の地域課に配属され、交番勤務を1年、その後はパトカーで市内全体をパトロールする仕事を任されました。また、白バイ隊員になるための『白バイ専科』で特別教養を受け、試験に合格。交通課に異動となった後、第一交通機動隊へ配属され、25才で念願の白バイに乗ることができました」

仕事内容を教えてください。

「現在は名古屋市の北部から岐阜県境までのエリアを担当する名北中隊に所属し、白バイで交通取締り活動をするのが主な仕事です。交通事故の多発地域などに入り、交通違反がないかパトロールしています」

—やりがい

「感謝されたときは、やっぱりやりがいを感じますね。地理案内をしたときに『ありがとう』と言っていたのだいたり、交通違反の取締りで『事故を起こす前に止めてくれてありがとう』という言葉をもらったりしたときは、この仕事をやっていてよかったなと思いました」



—なるためには

「警察官採用試験に合格し、警察学校を卒業すれば、警察官として働くことができます。学生時代は時間がたくさんありますが、ぼんやり過ごすのではなく、大切に使うといい。遊びでもなんでもいろんなことを経験して、もし目標があるなら勇気を持ってその世界に飛び込んでほしいと思います。私が車やバイクが好きだった経験を白バイの仕事に生かしているように、どんな経験もきつと何かの形で役に立つことがありますよ」

お忙しいところ、ありがとうございます。

岸田 直之 さん

平成3年生まれ 愛知学院大学法学部卒業

・出身高校 天白高校

22歳

↓

25歳

↓

28歳

バイクが好きになり、白バイ隊員になるため警察官採用試験に挑戦。

厳しい訓練と試験を経て、念願の白バイ隊員として動きはじめる。

愛知県から犯罪や交通事故を少しでも減らせるよう、パトロールに励む。



きし

だ

な

ゆ

き

岸田

直之

さん

平成3年生まれ

愛知学院大学法学部卒業

・出身高校

天白高校

22歳

↓

25歳

↓

28歳

バイクが好きになり、白バイ隊員になるため警察官採用試験に挑戦。

厳しい訓練と試験を経て、念願の白バイ隊員として動きはじめる。

愛知県から犯罪や交通事故を少しでも減らせるよう、パトロールに励む。

学ぶ気持ちを忘れない!!

【紹介企業情報】株式会社オールハーツ・カンパニー

- 住所 名古屋市中区栄2-4-18 岡谷鋼機ビルディング1F
- URL <https://www.heart-bread.com/>
- URL <https://pinede.co.jp/> (PINEDE)
- 営業時間 10:00 ~ 22:00(店舗による)
- 定休日 年中無休(店舗による)

アンビ
ジャス的

なるためには

- 必要資格 / 製菓衛生師 ※必須ではない
- 主な進路 / 高校卒業→製菓の専門学校に進学→製菓理論、製菓技術を学ぶ→国家試験に合格し、製菓衛生師を取得→ケーキ店を運営する企業に就職

—学生時代

「高校時代は吹奏学部に入っていました。全国大会で金賞をいただいたり、海外で演奏したり、いろいろな経験ができたと思います。練習が厳しくて何回も辞めたいと思う時期があったのですが、同級生の頑張る姿を見て、『自分も頑張ろう』と思うことができました。そのあきらめない気持ちで部活で得たものですね」

「専門時代のことを教えてください。」

「ケーキを家でよく作っていたのですが、家族がよるこんでくれるのがうれしくて、漠然と自分のお店をもちたいと思うようになりました。高校卒業後、国際製菓技術専門学校に進み、ケーキをメインとして、マカロンやタルトなどの洋菓子、和菓子などを勉強しました。まずは製菓理論から。その後、基礎となるパレットナイフを使ってデコレーションするナッペの練習など、製菓技術を身につけていきます。もちろん技術や知識も社会に出て役に立っていますが、一番は考え方や意識。職人さんから技術を盗む姿勢、先輩の仕事を観察する視点など、自分から吸収する姿勢を養うことができました」

—仕事について

「現在は、アンティークやピネードなどを全国展開するオールハーツ・カンパニーで働いています。ケーキを作るだけでなく、接客に力を入れているところに惹かれて入社しました。ケーキはおいしいのが前提。重要なのは、それをどう伝えるか？」

—やりがい

「この道に進んだのも、相手のようご姿を見たいという思いがあったから。お客様に感謝されたとき、期待以上のものができたときにやりがいを感じます。『こんなすてきなケーキをありがとう！』とか『来年も買ってくるね！』といった言葉をいただくとうれしいです」



—なるためには

「パティシエとして働くのに必須資格はありません。私も取得しましたが、国家資格の製菓衛生師を取得すると役に立つと思います。最初はつらいこともあると思うので、挫けそうなときに踏みとどまることが大切です。高校時代は、自分の考えがすべてではありません。考えていることをまわりに相談したり、視野を広げるために会社見学や大学見学に行ったりするのいいと思います。凝り固まった考えにならないよう、何にでも挑戦してみてください！」

「ありがとうございました。」

おおにしりかこ
大西 里佳子 さん

平成7年生まれ 国際製菓技術専門学校卒業

・出身高校 愛知工業大学名電高校

18歳

作ったケーキをよるご家族の姿がうれしく、パティシエを志す。

20歳

国際製菓技術専門学校に進み、製菓理論や技術を学ぶ。製菓衛生師を取得。

23歳

込めた思いが相手に伝わるよう、日々のケーキづくりや接客に励む。





「日本トップレベルの同世代の選手たちを見て『もっと私もうまくなりたい』という思いが強くなりました。挫折を感じたというより、『こんなに打てるんだ。すごいな』って純粋に感動しちゃいました笑。その思いがあるから、いまでもずっと続けているんだと思います」

——シャイニングベガへ

「大学卒業後、声をかけていただいた日本女子ソフトボールリーグ1部の豊田自動織機シャイニングベガ」でプレーをしています。午前中は豊田自動織機で仕事をして、午後から練習をおこないます。リーグ戦は、4、5月に前半戦があり、9月、10月に後半戦、決勝トーナメントは11月におこなわれます」

私の理想は、プレーを通して感動を与えられる選手。私たちの試合を見ることで、相手の心を動かすことができたらうれしいですね。

学生時代とのレベルの違いは？

「学生とはレベルが違う世界なので、意識しているのは、とにかく考えること。ひとつ何かを覚えるとしても、考えてやらないと先につながりません。という課題があつて、という練習方法を選択して、という選手になりたいのか。その意識が大切です。メニューを提示されたとしても、そのメニューはどういう意図で組まれているのかを常に自分の中で考えるようにしています。体力も必要ですけど、頭も使いますよ…(笑)。気合いでどうにかするという世界じゃないの」

試合に臨むときに大切なことは？

「1年目の新人ですが、前半戦は試合にも出させてもらいました。大切にしているのはとにかく平常心。そのためには、前日に相手の情報を確認するなど準備が必要です。私は熱くなりやすいタイプなので(笑)、興奮しないようにスローテンポの音楽を聴いてリラックスして試合に臨むようにしています」

——伝えたいこと

「選手だからといって、ソフトボールだけしていればいいとは思いません。結果を求められる世界ですが、人間性も大切にしたいと思っています。私の理想は、プレーを通して感動を与えられる選手。私たちの試合を見ることで、相手の心を動かすことができたらうれしいですね」

自身が心を動かされた経験は？

「大学生のとき、部員が60人を超えていたので3分の2近くはベンチにも入れない状況でした。そんななかで、声をからし、大声を張り上げて応援してくれる同期、先輩、後輩の存在。その存在がすごく力になりました。試合に勝ったときも、勝ったことよりも、みんなを評価してくれたときのほうがうれしかったです。『自分がやらなきゃ。みんなの頑張りには報いたい』という気持ちにさせられました」

——メッセージ

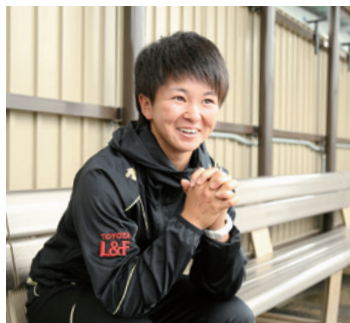
「選手として活動したいのであれば、王道はふたつ。チームに声をかけてもらい入団するか、セレクションに参加して監督の目に止まるか。そのどちらかですね」

今後の予定を教えてください。

「9月から後半戦が始まります。詳しいスケジュールはホームページを見てください。みなさんの応援を待っています！」

部活を頑張る高校生へ。

「部活を通して学んでほしいのは、仲間の大切さ。考え方の違う人に対し、ぶつかることもあると思います。が、相手を思いやる気持ちは大切にしてほしいです。私がミスをしてカバーしてくれる仲間がまわりにいる。逆に私だけが活躍しても試合に勝てるわけではない。それがチームスポーツの魅力だと思いますよ」



進路に悩んでいる高校生に向けて、応援メッセージをお願いします。

「つらいことがあつても、まわりに支えられてソフトボールを続けることができることができました。ただ、つらいのに無理して頑張つて続けることだけが正しいとは思いません。自分が選んだ選択に後悔しなければ、辞めて違う道に進むのもひとつの選択だと思います。どの道を選んでも自分次第。自分が頑張れば、その選択を楽しむことができると思いますし、正解にすることもできると思いますよ！」

お忙しいところ、ありがとうございます。

竹中 真海さん
平成8年生まれ 日本体育大学体育学部卒業

・出身高校 東海学園高校

13歳 ソフトボールのスピード感に魅了され、中学からソフトボール部に入部。
18歳 東海学園高校ではキャプテンを務める。卒業後、日本体育大学へ。
22歳 豊田自動織機シャイニングベガに所属。プレーを通して、まわりに感動を与えられる選手をめざす。



YOUTH
ユースフラッシュ
FLASH

名古屋出身の有名人インタビュー

東海学園高校出身のソフトボール選手、竹中真海さんを独占取材！

中学生のときにソフトボールを始めた竹中真海さん。学生時代は、U19日本代表として世界女子ジュニア選手権大会で準優勝、昨年は学生日本代表として東アジアカップ優勝を経験しました。現在は、豊田自動織機シャイニングベガに所属する竹中さんに、スポーツを通して学んだことを聞いてきました。

——ソフトボール部の経験

「ソフトボールを始めたのは、中学1年生のときです。それまでは、ハンドボールやサッカーをやっていました。きっかけは、教員をしていた父の職場のソフトボール部を見たこと。打ったり、走ったり、投げたり、スピード感のあるいろんな要素に魅力を感じ、『私もやりたい』と思うようになりました」

高校時代について教えてください。

「東海学園高校には、ソフトボール推薦で入学しました。印象に残っているのは、私がキャプテンを務めた最後の年、インターハイの県大会で優勝できたことです。それまでずっと同じ高校に決勝で負けていて、延長で勝てたときは本当にうれしかったですね。勝てた要因としては、チームワークが大きいと思います。私もキャプテンとして、言葉で指示をするだけでなく、とにかく姿で示すことを意識していました」

ソフトボールを辞めたいと思った時期はありましたか？

「多々ありますよ(笑)。試合に勝てないときもそうですし、チーム内の人間関係のゴタゴタもありましたし…。ただ自分自身に問いかけたときに、やっぱり『ソフトボールが好き』という気持ちは変わらなかったんです。まわりの仲間に助けられた部分も大きいです。一人だったらすぐに辞めていたと思います(笑)」

部活を通じ、成長を感じる瞬間は？

「物事を客観的に見られるようになったと思います。自分の性格的

に、感情が前に出てまわりが見えなくなるが多かったのですが、キャプテンを経験したことで、相手の気持ちや理解できるようになりました。客観的に捉えることで、問題の解決策は一個じゃないということにも気づくことができました」

大学時代について教えてください。

「高校卒業後、日本体育大学に進学しました。大学で印象に残っている試合は、最後のインターカレ決勝。それまで3位や準優勝だったの、なにがなんでも優勝したいという強い思いで、何時間も話し合いながらチームづくりをして臨みました」

決勝戦の結果は？

「苦しい試合でした。点を取って取られてを繰り返して、最終回の時点では1点負けていました。結果はサヨナラ勝ち。勝った瞬間、浮かんできたのは、つらかった思い出。そのすべてが報われたと思つて涙が溢れてきました。言葉にできない感情だったんですけど、口を開いて出てくるのは、誰に対しても『ありがとう』という言葉だけ。こんな感情になることはこの先ないんじゃないかと思うくらいの経験でした」

——ターニングポイント

「始めたばかりのときは、ずっとソフトボールを続けているなんて考えてもいませんでした。ほかのスポートにも興味があったので、ターニングポイントになったのは、中学3年のときです。16歳以下の日本代表を決める選考会があつて、私も最終選考まで残ったんです」

AMBITIOUS #001

ニッカホーム株式会社
HOME DARNER (ホームダーナー)

楽しいことを全力で!!

紹介企業情報/ ニッカホーム株式会社

- 住所 名古屋市緑区菟山2-1225
- URL <https://www.nikka-home.co.jp/>
- 勤務時間 8:30~17:30
- 休日 週休2日

アンビ
ジャスト

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→リノベーション、リフォーム
をおこなう企業に入社→ホームダーナー

学生時代

「高校生のころは、漠然と建築の仕事をしたかったと思っていました。中学生のときに実家の建て替えをしたのですが「住宅のことを考えるのって楽しい!」と思ったのがきっかけです。一方で薬品や食品にも興味があったので、卒業後は、中部大学応用生物学部に進学しました」

大学時代について教えてください

「食品系のゼミに入っていたので、おからや米ぬかを使って資源を再利用する研究をしました。研究はどれも楽しかったです。私は就職活動が大好きで、説明会にも100社以上参加しました。いろいろな企業のことを知る機会がこのときくらいしかないと思うので、知らないことを勉強できておもしろかったです。大学のキャリアセンターも活用し、自己分析の方法などを指導してもらいました」

仕事について

「会社の雰囲気や事業内容に惹かれてニッカホームに就職しました。お客様とふれあう仕事が自分に合っていると思いましたが、モノを売るというより「一緒につくりあげる」という側面にも魅力を感じました」
入社当初、先輩に教わったことは? 「最初の2ヶ月は、先輩に付いて全体の流れを学ぶ期間です。メーカーにプランを教えてもらいながらキッチンやお風呂の見積もりを作成しました。ある程度の経験を積んだ後、トイレ交換など小さい取り替え仕事を任されるようになります」

ホームダーナー



現在の仕事内容を教えてください

「思い出のある家を、新築以上の価値のあるものにする仕事。リノベーションをする中で、中のものはすべて新築と変わらない状態になりますし、それプラス思い出もかたちにしていくことができます」

リノベーションの流れは?

「実際に住んだときのことを想定して一緒にプランを考え、ベース(イメージ図)をつくります。一緒にシヨールームを回ったり、カタログを見たりしてイメージを固めていき、決定次第、工事に入ります。その後は現場監督として職人さんの手配や工程管理をおこないます」

やりがい

「引き渡しのアフターサービスも含め、最後まで1人のスタッフでおこなう一貫体制が当社の強みです。大変な部分もありますが(笑)、その分、やりがいも大きいです。プランを考えるときも楽しいですし、「これがお客様の家に合うんじゃないかな」と提案したものが、「自分たちじゃ考えられなかったけど、こういうことができるんだ!」とよるこんでもらえるのがうれしいですね」

なるためには

「自分で何かをつくるのが好き」という気持ちをもっている人は楽しく働けると思います。もちろん工事現場でしか得られない経験値もあるので、この仕事を楽しいと思っでどれだけ努力できるかが重要です。学生時代は、自分で考えて時間を有意義に使える期間。いまいかできないことに挑戦してみてください。あとは、幅広い年齢の人が集まるサークルなどにも参加することをおすすめします。自分と違う世代の人たちに出会うことで、学べることもたくさんありますよ!」

ありがとうございます!

武上 正人さん

昭和62年生まれ 中部大学応用生物学部卒業

出身高校 名古屋大谷高校

18歳

中学生のとき、実家の建て替えを機に建築に興味をもつ。中部大学に進学。

22歳

大学卒業後、ニッカホームに就職。リノベーションの基礎を学ぶ。

31歳

お客様と一緒にプランを考え、思い出のある家を、新築以上の価値のあるものに!



AMBITIOUS #002

名古屋地方裁判所 裁判所事務官

日々の積み重ねが
自分を高める!!

紹介企業情報/ 名古屋地方裁判所

- 住所 名古屋市中区三の丸1-4-1
- URL <http://www.courts.go.jp/nagoya/>
- 勤務時間 1日7時間45分
- 休日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

アンビ
ジャスト

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→裁判所職員採用試験に合格→裁判所事務官として勤務

——学生時代

「小学生のときに始めた将棋に高校時代も熱中していました。将棋の魅力は、奥が深いところ。勉強すればするほど、わからないことが増えていくんです(笑)。卒業後は、名古屋大学法学部に進学しました。高校時代、社会の授業がおもしろくて法律に興味をもったのがきっかけです」

「大学時代のことを教えてください。」
「主に消費者法を勉強しました。たとえば貸借借の契約をする場合、一般人と事業者のあいだには情報格差があります。消費者法は、それを解消するための法律です。卒業後予備校で働きはじめたのですが、やはり学んできた法律をいかせる職場で働きたいと思い、24歳のときに裁判所職員採用試験を受けました」

——仕事について

「先輩から教わったのは、正確性が大事なこと。裁判に関わる書面を作成するので、間違っていると大変なことになります。『仕事を覚えた初めのうちは、スピードも大事だけど、何よりも正確性を大事にしないさ』と言われました」

最初に任された仕事は?

「勾留更新の手続きです。1ヶ月ごとに裁判官が、被告人を勾留するかを判断します。その判断にもとづいて事務官が手続きをおこないます。ある程度、大学で法律は勉強したと思っていましたが、いざ働いてみるとわからないことも多かったです。厳格な手続きが求められる場所なので、慣れるまで苦労しました」

——なるためには

「高卒者と大卒者では試験区分が違いますが、裁判所職員採用試験(裁判所事務官)に合格する必要があります。法律の試験もありますが、法学部以外の方も多いため、学部は関係ない気がします。それより大切なのが積極性。ただ、自分の判断だけで行動して間違えることが一番よくないので、わからないときに声を出せることも大切です。高校時代は勉強で忙しいと思いますが、興味をもったことは挑戦してみてください。そのなかで、自然と本当にやりたいことが見えてくると思います」

ありがとございました。



現在の仕事内容を教えてください。

「事件の内容について判断するのが裁判官。裁判の流れを記録、調整等をするのが書記官。その両者の仕事をサポートするのが私たち事務官です。事務官は、裁判に立ち会ったり、裁判員候補者の対応や説明、保釈請求に関する事務などをおこないます。弁護士や検察官などの予定を確認し、裁判の日を調整するのも事務官の仕事です。さらに、裁判所に来られた方や、電話での問い合わせに一次対応するのも事務官。私の言葉が『裁判所の言葉』になるので、間違ったことは言えないですし、裁判所の顔としていい対応を心がけています」

——やりがい

「テレビで報道されるような事件に関われることは、プレッシャーもありますが、やりがいも大きいです。あとは、自分の好きな法律を仕事にいかせていることもやりがいにつながっています。私は4月から書記官になるための研修を受けます。今後は書記官として、いままでは以上に裁判所に貢献したいと思っています」

おおしまけんじ
大島 健嗣 さん
平成5年生まれ 名古屋大学法学部卒業

・出身高校 明和高校

18歳

↓

24歳

↓

25歳

将棋に熱中した学生時代。法律に興味をもち名古屋大学法学部に進学。
裁判所職員採用試験(裁判所事務官)に合格。裁判所事務官として働きはじめる。
常に正確な仕事を心がけ、裁判官や書記官を支える。



行動あるのみ!!

紹介企業情報/ 名港海運株式会社

- 住所 名古屋市港区入船2-4-6
- URL <http://www.meiko-trans.co.jp/>
- 勤務時間 8:00~17:00
- 休日 土曜日、日曜日、祝日

アンビ
ジャスト

なるためには

- 必要資格 / 通関士 ※必須ではない
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、語学を学ぶ→物流関係の会社に就職

— 学生時代

「高校時代はハンドボール部の活動に打ち込んでいました。高校最後の試合、対戦相手はまさかの県大会常連校。勝ち目のない格上の相手だったのですが、『やれることはやろう』と試合までの3ヶ月間、全力で対策を練りました。試合本番、同点まで持ち込み結局PK負け。悔しさはありましたが、高校生でも頑張ればここまでできるんだと感動し、とてもいい思い出になっています」

大学時代のことを教えてください。

「英語を使う職業に就きたいと考え、英語の授業が多い名城大学人間学部へ進学。1ヶ月間の留学プログラムでオーストラリアへ留学したことが印象深いです。あとは、バレーボールサークルの部長として、さまざまなイベントを企画してサークルを盛り上げるなど大学生活を満喫していました(笑)」

— 仕事について

「地元の大きな物流系企業で、若手でも海外に挑戦できるところに魅力を感じ、名港海運に就職。新人時代は名古屋港のコンテナターミナルという現場で働いていました。大きなクレーンで海外からきたコンテナ船の貨物を積み下ろしするのですが、効率のよい順序やバランスのよい積み込み方などを考えてプラン作成をしたり、現場での作業監督などの業務を担当。働きはじめて丸3年が過ぎたところ、念願だった海外研修に挑戦できることとなり、1年間タイとインドに勤務しました」

現在の仕事内容を教えてください。

「お客様が輸入したい荷物に対して、日本に持ち込んで良いものか、関連する法律を調べたり、通関(※)審査に必要な貿易書類などを揃えたりします。食品や植物を担当することが多いので、農林水産省や厚生労働省などに確認しながら進めることも。書類が準備できたら、次は通関部でチェックと申告。名古屋港に到着した荷物の手続きと検査が終わると、やっと国内へ迎え入れられます。その後、希望の納品先までトラックで配達し、到着完了を見届けるまでが一連の流れです」

— やりがい

「大学時代に初めてタイへ旅行したとき、想像とまったく違い、都心部は日本と変わらないほど発展していて、日本の商品も多く流通していたことに驚きました。国の発展の背景には必ず、物流があります。日本のものを海外に輸出し、海外のものを日本に輸入することは、さまざまな国の発展を支えているのです。その一端を担う仕事ができていることに、やりがいを感じています」

— なるためには

「海外とのやりとりがある仕事なので、海外情勢に目を向けておくといと思います。いまなら米中の貿易戦争。『ふーん、そうなんだ』で終わらずに、日本にどう影響するのか？と考える癖をつけてみてください。また、海外に行ったとき、日本の車や日本の食品を目にすることがあると思います。その裏には必ず物流があるのです。視点を変えて物流を意識してみてもいいですね。専門的な知識だと通関士の勉強をしていればとても有利になると思います」

「お忙しいところ、ありがとうございます」

佐々木 拓真さん

平成4年生まれ 名城大学人間学部卒業

・出身高校 名古屋市立北高校

22歳

↓

25歳

↓

27歳

名港海運株式会社に就職。コンテナターミナルの現場監督として勤務。

タイとインドに1年間の海外研修へ。大学で学んだ英語力をいかす。

駐在員として海外勤務することを目標に輸入部での業務に励む。



失敗を恐れずに!!

紹介企業情報/ SERIO MOTOYAMA

- 住所 名古屋市熱田区金山町 1-5-2 クマダ7ビル5F
- URL <http://www.e-serio.co.jp/>
- 営業時間 10:00~20:00(平日)
9:00~19:00(土曜日、日曜日、祝日)
- 定休日 火曜日

なるためには

- 必要資格 / 美容師国家資格
- 主な進路 / 高校卒業→美容専門学校を修了→国家試験に合格し、美容師資格を取得→美容院に就職

アンビ
ジャス的

—学生時代

「両親がともに美容師だった影響で、小さいころから美容師に憧れていました。中学・高校の職業体験で美容師の仕事がやりたいとき、やっぱりこの仕事をやりたいと思い、美容専門学校への進学を決意。高校では行事に積極的に参加したり、軽音部に入りギターを始め、文化祭のライブで演奏を披露したりして、とても楽しい高校生活でした」

どんな専門学校時代でしたか?

「両親の出身校でもあった中部美容専門学校でヘア・メイク・着付け・ネイル・エステなどトータルビューティーを学びました。一番の思い出はヘアショーです。衣装づくりやモデルさんのヘア、メイクなどをすべて自分たちの手で作りあげました。『与えられたテーマをどんな風に表現するのか? 見ている人にどう伝えるのか?』を決めるのがとても難しかったです。終わったあとはとても達成感がありました」

—仕事について

「ブライダルなども幅広く手がけるセリオ株式会社へ入社。入社後すぐはシャンプーやカラーなどの技術面のレッスンや、接客業や社会人としての基礎知識を学ぶ座学、ヘアケア剤メーカーさんの工場見学などの研修を受けました。また、名古屋市内にある5つの店舗を2週間ずつ回り、店舗ごとの雰囲気や業務の流れを体験。その後、現在の勤務先である本山の店舗に本配属となりました」

現在の仕事内容を教えてください。

「お客さまのお出迎えやお見送り、シャンプーやヘッドスパ、カラーを担当するほか、鏡持ち、床掃き、先輩スタイリストの業務のサポートなどが主な仕事です。また、始業前や終業後、営業中の空いた時間にはレッスンをして技術を磨いています。現在は、パーマの練習中。テストに合格すれば、お客様に施術できるようにになります」

大切にしていることは何ですか?

「幅広い年齢層のお客さまがこ来店されるので、ご年配のお客さまに対しては腰に負担がかからないようシャンプー台をフラットにして、移動が少なくて済む近くのお席をご案内したり、妊娠中のお客さまであれば、ついでにだけお掃除を早く帰れるようにしたり、とスタッフ全員で心がけています」

—やりがい

「ヘッドスパやシャンプーなどの指名をもらえることが、いまのやりがいです。お客さまによるこんでもらえたり、褒めてもらえたりするとやっぱりうれしいですね」



—なるためには

「美容専門学校に入り、美容師になるための知識を学び、試験に合格して美容師国家資格を取得する必要があります。そして『お客様をキレイにしたい』という気持ちをもてる人が向いていると思います。私自身、あまり器用な方ではないですが、先輩方はていねいに教えてくれますし、練習を重ねていけば技術は自然と身についていくものだ、働きながら感じるようになりました。だから、器用さよりも気持ちが大事だと思いますよ!」

お忙しいところ、ありがとうございます。

やま だ り な
山田 里奈 さん
平成9年生まれ 中部美容専門学校卒業

出身高校 名古屋市立西陵高校

18歳

中部美容専門学校でトータルビューティーを学ぶ。美容師国家試験に合格。

20歳

セリオ株式会社に入社。本山店でアシスタントとして働きはじめる。

22歳

将来両親と一緒に働くことを夢見て、まわりから信頼される美容師をめざす。



恥心を捨て 殻も破ろう!

紹介企業情報 / 株式会社 S-point 部屋セレブ中村店

- 住所 名古屋市中村区太閤通9-12
- URL <http://www.spoinet.jp/>
- 勤務時間 10:00~19:00
- 休日 月6日

アンビ
ジャス的

なるためには

- 必要資格 / 宅地建物取引士 ※必須ではない
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→宅地建物取引士を取得→賃貸・不動産を取り扱う企業に入社

不動産賃貸仲介営業

—学生時代

「高校時代の思い出は、バスケットです。部活からは、チームワークを学びました。あとは、友達と遊んだり楽しい高校生活でしたね。将来のビジョンは明確に固まっていなかったのですが、大学でやりたいことを見つけようという感じでした」

大学時代のことを教えてください。

「いろいろな大学のオープンキャンパスに参加しましたが、通いやすさ、先輩の雰囲気惹かれて愛知大学経営学部に進学しました。講義の内容は、経営学はもちろん、経済学やマーケティングについて。学部をまたいで授業を受けることもできるのです。中国語を学んだり幅広くかったです。いま役立っていると感じるのは、英語。語学を学んだことで外国人とコミュニケーションをとることも慣れましたし、いまの自分にかざされていると思います」

—仕事について

「賃貸マンションやアパートの仲介・不動産売買などをおこなうエスポイントで働いています。最初に教わるのは、名刺の渡し方や言葉づかいなどの基本的なマナー。その後、配属された店舗で、先輩や店長から実務を教わっていきます」

先輩から教わったことは?

「まずは、自分が担当している土地について知ること。物件の写真を撮りに行ったり、道を覚えたりすることから始めました。どんな人が道を歩いているのか、まわりにあるお店の情報など。県外から来て一人暮らしをする人は、さまざまな不安を抱えていると思います。その心配を解消できるような場所なのか、住む人の気持ちになって仕事を進めることの大切さを学びました」

現在の仕事内容を教えてください。

「わかりやすく言うと、賃貸を借りて来のお客様のお悩み相談室です。提案のときに意識しているのは、家賃や設備などの表面的な部分はもちろん。どんな家具を置く予定か、どんなお店によく行くのかなど、お客様の人柄やライフスタイルに寄り添った提案を心がけています。そのためにも、お客様との信頼関係が重要。最初は仕事の話はせずに、一緒に笑いながらとにかくお客様と仲良くなることを心がけています」

—やりがい

「まず一つは、お客様がよろこんでくれること。『任せてよかった!』と一言もらえるとうれしいです。もう一つは、社内しっかりと仕事を評価してもらえる環境があること。誰かが契約をとったら褒め合う空気がありますし、外からも内側からもやりがいを感じる瞬間は多いです」



—メッセージ

「必須ではありませんが、宅地建物取引士の資格は取得しておいたほうがいいですね。ない場合は、入社後に勉強して取得することになります。私は中学3年までとてもシャイな性格で、いろいろな人と接する機会を自ら断っていました。でも高校に入り、変なプライドは必要ないと思い、自分自身の殻を破って積極的にいろいろな人と関わるようにしたんです。そこで育まれた人間性は、社会に出たいまも私にとってプラスになっていると思います」

お忙しいところ、ありがとうございます。

竹安 俊人 さん

平成7年生まれ 愛知大学経営学部卒業

・出身高校 名古屋西高校

18歳

バスケット色の高校生活。友達とも楽しい時間を過ごし、青春を謳歌。

22歳

愛知大学に進学し、経営学や経済学、語学について学ぶ。

23歳

今を大切に!!

紹介企業情報/ 大有建設株式会社

- 住所 名古屋市中区金山5-14-2
- URL <http://www.taiyu.jp/>
- 勤務時間 8:30~17:30
- 休日 土曜日、日曜日、祝日

アンビ
 ジャス的

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→4年制大学の建築系の学科を卒業→建設会社に就職→積算として勤務

—学生時代

「高校の3年間は、サッカー部のマネージャーとして部員をサポートしていました。部活を通して仲のいい友人もでき、いい思い出になっています。建築系の仕事をしていた父親の影響で、当時は建築やインテリア、家具に興味があり、将来は建築設計などの仕事に就けたらいいなと考えていました」

大学時代のことを教えてください。

「高校卒業後は、中部大学建築学科へ進学。設計の仕方や模型の作り方、建築の歴史などを学び、課題を通して住宅や美術館など、さまざまな建築物の模型を実際に作成しました。課題では、締め切りに追われて提出日前日に徹夜することもありました。その大変だった経験のおかげで、計画的に物事を進める習慣が身についたと思います。卒業研究は、市役所を通して住民に対するアンケート調査を実施し、区画整理や都市計画をテーマにしました。就職活動では、大学で開催されていたマナー講座を受けて面接対策をし、建築系の事務職に絞って採用試験を受けました」

—仕事について

「道路補修や高速道路工事事業をおこなう大有建設に就職。入社してすぐの2ヶ月間は、会社の規則やマナー、エクセルの使い方に加えて、現場を知るために営業所を回る研修期間でした。その後先輩に教わりながら『積算』の仕事を覚えていきました」



現在の仕事内容を教えてください。

「名古屋市内や愛知県、国土交通省などが告示する工事の予算に対して、実際に自社で工事をおこなうという費用がかかるのかを正確に計算し、価格を提示するのが『積算』の仕事です。工事の受注のためには、複雑な戦略が必要なものもあるのですが、ミスがあるともちろん工事は受注できず、会社の利益につながりません。工事がおこなわれる場所や工事方法、使用される材料によっても積算の結果が変わってくるため、毎回過去の事例を振り返り、先輩に確認しながら進めています」

大切にしていることは?

「積算は、現場を知らないという理解が深まらず、間違いに気がつかないこともある仕事です。時間があるときには先輩方に同行して現場を見学し、理解を深めるため勉強するようにしています」

—やりがい

「ミスなく積算を終えて、その結果無事に工事を受注できたときは安心しますね。やりがいを感じる瞬間もあります」

—なるためには

「私は、自分が人前に立つよりもサポートをするほうが得意だと感じ、大学で学んだ建築の知識をいかしながらできる事務職として、『積算』の仕事に出会いました。この仕事では専用のソフトで数字を扱うため、パソコンが使える、かつ正確に仕事ができる人が向いていると思います。また、工事現場の知識も必要なので、現在私は**2級土木施工管理技術検定**の資格取得のため勉強中です。大学で建築系の学科を卒業していれば、実務経験1年で受験資格が得られますよ」

ありがとうございます。

せき もち え
関 百恵 さん

平成7年生まれ 中部大学工学部卒業

・出身高校 名城大学附属高等学校

18歳

↓

22歳

↓

24歳

建築系の仕事を志し、中部大学工学部建築学科へ進学。

大有建設株式会社へ入社。道路補修工事など、積算の仕事始める。

積算をひとりで完璧にできるように勉強しながら、日々の業務に励む。



分
 時
 中